

# ニユース専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425  
東京都千代田区  
神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

## 主なニュース

- 多方面から学生生活をサポート  
学生相談室・障がい学生支援室……………②
- 2022年度「千代田学」活動紹介の冊子  
学校法人専修大学 事業計画・予算……………③
- 石巻専修大学 専大経営学部にて国内留学……………④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

# ラオス私立教育協会訪問団が来学

## 佐々木学長らと会談 教育分野の交流促進へ

ラオス教育スポーツ省私立教育協会の訪問団47人が4月26日、生田キャンパスを視察した。訪問団は教育担当国會議員や私立学校関係者らからなり、幼稚園から大学までの私立教育機関の視察のために23日から29日まで訪日。本学が大学として唯一視察先に選ばれた。



視察に訪れた訪問団代表(左側)と本学関係者

ラオス教育スポーツ省 議員のケツマニー・パビエンチャン 首都代表団团长 サック氏、ラオス私立教育協会副会長のスツパボン・ヴィサップ・カワムラ氏ら訪問団の代表6人と、佐々木重人学長、松木健一理事長らが会談し、今後の交流について意見を交わした。

佐々木学長は、2008年にラオス国立大学と本学が国際交流協定を結ぶなど、同国との緊密な関係について披露。同大学からは、1年間の交換留学生(特別聴講生)や

あいさつするケツマニー議員



海外客員教授を本学に受け入れていたが、近年は付属高校も含めたさまざまな

松木理事長は「今後、ケツマニー議員は「専修大学との交流を通じて、ラオス国内の教育の向上を図りたい」と心え、

また交流が広がることを願っている」と期待を寄せた。

ケツマニー議員は「専修大学の子どものように主体的な学びを身につけてほしい」と語った。

図書館本館を見学する一行。スツパボン副会長は「日本語を学ぶ学生や日本への留学を希望する学生が増えているので、受け入れの協力をお願いしたい」と述べた。

訪問団一行はキャンパスを見学。あいにくの雨ながら、9号館の情報科学センターや図書館、10号館のゼミ室や学生食堂などを、職員の説明を聞きながら見て回った。幼稚園から高校までの私立学校の理事長を務める男性は「素晴らしい施設。学生も生き生きしている。楽しそう。ラオスの子どもたちにも日本の学生のようになりたい」と語った。

訪問団にプロジェクトの意義を説明する山田理事



成果と展望を説明  
本学とラオスは深いつながりがある。本学と本学会計研究所は2019年3月、ラオス国立大学、同大経済経営学部、川崎商工会議所、ラオス商工会議所と協力協定を結び、同年10月から「ラオス国内における簿記教育の発展・普及」プロジェクトを進めている。

意義を語った。社会知性開発研究センター1/複式簿記普及事業推進研究拠点代表の国田清志商学部教授が、これまでの取り組みを紹介し、ラオス国内への簿記普及の協力を呼びかけた。

「専大生による専大生のための就活スタートダッシュ講座」と銘打ち、経営学部と経済学部の3年生13人が企画・運営を担当。就職支援会社を担う。就活に本格的に取り組む前の学生たちが抱えている漠然とした不安や

イベントの司会・進行も学生が務めた



第1部のテーマは「自分自身、就活について何から手をつけたらいいのか分からず、手探りのなかで今回の講座を企画した。参加者と同じ視線に立った等身大のイベントになった」と語る。

## 専大生企画「就活スタートダッシュ講座」

### 経営・経済 3年次生 等身大のイベント



グループディスカッションで活発に意見を交わす参加学生たち

した。企画した今優輝さん(経営3)は、「就活への一歩をなかなか踏み出せない人をターゲットにした」と話す。

第2部では「業界研究はどうやる?」「就活に有利な資格は?」などグループディスカッションを実施した。「参加型にすることで一人一人が主体的に取り組めた」と担当した深澤京資さん(経営3)。

第3部は「自己分析」を取り上げ、参加者はアプリなどを使って自己分析に挑戦した。運営の橋佳史乃さん(経営3)は「自分自身、就活について何から手をつけたらいいのか分からず、手探りのなかで今回の講座を企画した。参加者と同じ視線に立った等身大のイベントになった」と語る。

参加した経済学部3年次生は「就活の進め方一つではないと知ることができた。自分に合うやり方を見つけた」と感想を述べた。

イベント開催をサポートした青木章通経営学部教授は、「考えたことを形にする力は実社会でも求められる。企画から運営まで手がけた学生たちにとって有意義な機会になった」と話した。

石川県能登地方を震源とする地震で被災された皆様へ  
被災された皆様からお見舞い申し上げます。  
専修大学と石巻専修大学は、被災された学生と保護者の方に対して、安心して学業が継続できるように支援を行っております。以下の担当窓口にご相談ください。

- 生田学生生活課 ☎044-911-1267
- 神田学生生活課 ☎03-3265-6824
- 生田大学院事務課 ☎044-911-1271
- 神田大学院事務課 ☎03-3265-6568
- 法科大学院事務課 ☎03-3265-6891
- 石巻専修大学事務課 ☎0225-22-7712